

信濃教育会教育研究所での研修

～研究所での一年～

4月

入所式

長野県教育委員会，長野県市町村教育委員会連絡協議会，長野県小中特
校長会他，多くの来賓をお迎えしての入所式。入所式が終わると研修がス
タートします。



新下代所長 佐藤 勉

紀要を通して過去の研究を学ぶ

前年度までの研修員の研究紀要を読み，研究所で行っている研修の
イメージをつかみます。

研究所での研修

第1テーマ 教師と子ども，子ども相互の関係づくりをどうすすめるか

第2テーマ 子どもの学びをどのように充実させるか

第3テーマ 子どもの願いに立った授業づくりをどうすすめるか

個 人 研 修・・・授業記録をもとに自己の実践を振り返る（レポート作成）

テーマ研究会・・・振り返りと学び合いを通してレポート検討を行う

所 長 講 義・・・所長の講義や著書をもとに研修を深める

ミニテーマ研・・・研修員同士でレポートや各自の課題について話し合う



ミニテーマ研での火熾し体験

子どもの思いを感じるために，実際に子どもが体験し
たことと同じことをやってみることもあります。

5月

授業参観

1 年次研修を経た 2 年次生の実践に学びます。子どもの様子を実際に参観し、
その子が何を思い、何を学ぼうとしているかを省察します。

信州大学教育学部附属学校園 公開研究会参加

長野・松本の隔年開催に合わせて参加し、附属学校園の実践に学びます。

淀川遠足

年8回の「読み合わせ」の時間で、『信州総合学習の源流』を読み進め、淀川学級の実践を学びます。淀川先生と研究学級の子どもたちが歩いた足跡をたどりながら「途上」や「郊外」に示された子どもの学びを考えます。



6月

教育研究所研究発表会

6月から7月にかけて県内4地区で、研究所の研究発表会が開催されます。1年次生、2年次生はスタッフとして研究発表会の運営を支えるとともに発表者の発表から研究の進め方を学びます。



7月

信濃教育会 総集会

年に1回行われる信濃教育会総集会に参加します。
係としても運営補助を行います。（記録、駐車場係など）



8月

信濃教育会基礎講座・臨地講習への参加

信濃教育会が主催する基礎講座等に自主的に参加できます。基礎講座「発達障がいのある子どもの理解と支援」、臨地講習「信濃の国探訪」等に参加しました。他にも、自主的に参加できる講座が多数あり、貴重な研修の場で大変参加しやすい環境です。



写真：信濃の国探訪より



「実践を語る会」の運営・参加

研究所の修了生や一般参加者を募り、日ごろの実践などを語り合う研修を行います。所長による講話，修了生による発表，参加者によるグループ協議などの研修が行われます。

9月

論文検討スタート

これまでの研修を振り返りながら、10月の中間報告会に向けて、自分の成果と課題をまとめた論文を作成し始めます。

10月

研友会総会 運営・参加

研友会による年一回の総会があります。

総会の事前準備、当日運営のお手伝いをします。



一年次中間報告会

長野県教育委員会の皆様、研究所運営委員の皆様を招き、これまでの研修を通して見えてきた自分の成果と課題を報告します。

11月

半年間の研修をふまえた「実習」

実習校や実習施設に赴き、参観や授業を行い、それぞれの課題を掘り下げていきます。

全県研究大会参加

信濃教育会が県内4地区で行っている信教全県研究大会に参加し、研修を深めます。

12月

実習の省察

実習を省察し、レポートを作成します。

2年次生の中間報告会に参加して学びます。

1月

1年次最終論文検討

実習後の省察を加え、研究の成果や課題をまとめ、最終論文を作成し、検討を開始します。

2月

教職大学院報告会参加

信州大学教職大学院実践研究報告会に参加し、研修を深めます。

3月

1年次最終報告会

中間報告と11月の実習を合わせ、1年間の研究のまとめとして研究論文を作成します。長野県教育委員会・在籍校校長先生にも参加していただき、最終報告を行います。



2年次研修

2年次生は、各学校で勤務し、月一回のテーマ研究会でお互いの実践を持ち寄り、学び合います。2年次テーマ研究会には1年次研修生も参加します。



研究所修了式

2年次の3月に修了式を行います。

3年次研修

3年次生は6月から7月にかけて、研究発表会で発表をします。